

(第1面)

産業廃棄物処理計画書

2025年 6月 2日

高知県知事 濱田省司 殿



提出者

住 所 高知県土佐郡土佐町相川1069

氏 名 嶺北興産 株式会社

代表取締役 稲垣栄

電話番号0887-82-1032

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

事業場の名称	嶺北興産 株式会社
事業場の所在地	高知県土佐郡土佐町相川1069
計画期間	2025年4月1日 から 2026年3月31日
当該事業場において現に行っている事業に関する事項	
① 事業の種類	窯業・土石製品製造業
② 事業の規模	前年度実績 458,530,000円
③ 従業員数	正規社員 18名
④ 産業廃棄物の一連の処理の工程	注文 → (碎石・砂・セメント・混和剤) 混練り → トラックでの出荷 → コンクリート打設 → 残コンクリートの持帰り  トラックの洗車 → 汚濁水のろ過  産廃ストック → 運搬 → 処分場(再生) (再生品目 RC40・RM30)

(日本工業規格 A列4番)

(第2面)

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

(管理体制図)

代表取締役 稲垣 栄 (産業廃棄物担当役員)

↓

常務取締役 永野 隆俊 (廃棄物処理統括責任者)

↓ 1. 廃棄物処理方針の策定

↓ 2. 廃棄物処理に関する各種事項の決定、承認

工場長 重光 孝俊 (廃棄物管理担当責任者)

↓ 1. 廃棄物管理状況の把握と改善策の検討

↓ 2. 処理業者、再生利用業者の調査、選定及び管理

↓ 3. 委託契約の締結

↓ 4. 産業廃棄物管理票の交付・管理

↓ 5. 監督官庁への各種報告

↓ 6. その他関係する事項

産業廃棄物運搬 (自社)

↓

産業廃棄物処理業者 (委託)

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

① 現状	【前年度 (2024年度) 実績】		
	産業廃棄物の種類	ガラス・コンクリート陶磁器くず	—
	排出量	1,511 t	— t
	(これまでに実施した取組) 注文段階でより正確な必要数量を算出するために、得意先業者 にお願いし産廃発生量を抑制する。		
② 計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	ガラス・コンクリート陶磁器くず	—
	排出量	1,000 t	— t
	(今後実施する予定の取組) 1. 注文段階でより正確な必要数量を算出するために、得意先業者 にお願いし産廃発生量を抑制する。 2. 社内教育を利用して環境問題全般についてと、産業廃棄物の減量 について研修会を実施し、この問題について全社員の共通理解を 得られるようにする。		

産業廃棄物の分別に関する事項

① 現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) ガラス・コンクリート陶磁器くず
② 計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) ガラス・コンクリート陶磁器くず

## 自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項

① 現状	【前年度（2024年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	ガラス・コンクリート陶磁器くず	—
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	400 t	— t
	(これまでに実施した取組) 残コンクリートを自社でのブロック製造、個人の私有地及び私道のコンクリート舗装に使用した。		
② 計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	ガラス・コンクリート陶磁器くず	—
	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	500 t	— t
	(今後実施する予定の取組) 自社でのブロック製造量を増やし、未舗装の個人の私有地及び私道が多くあるので、今後も協力をお願いします。		

## 自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項

① 現状	【前年度（—年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	—	—
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	— t	— t
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	— t	— t
(これまでに実施した取組)			
② 計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	—	—
	自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	— t	— t
	自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	— t	— t
(今後実施する予定の取組)			

## (第4面)

## 自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

① 現状	【前年度（ — 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	—	—
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	— t	— t
	(これまでに実施した取組)		
② 計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	—	—
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	— t	— t
	(今後実施する予定の取組)		

## 産業廃棄物の処理の委託に関する事項

① 現状	【前年度（2024年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	ガラス・コンクリート陶磁器くず	—
	全処理委託量	1,111 t	— t
	優良認定処理業者への処理委託量	— t	— t
	再生利用業者への処理委託量	1,111 t	— t
	認定熱回収業者への処理委託量	— t	— t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	— t	— t
	(これまでに実施した取組)		
<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 注文段階でより正確な必要数量を算出するために、得意先業者にお願ひし産廃発生量を抑制する。</li> <li>2. 自社でのブロック製造、地元の協力を願ひしコンクリート舗装を行う。</li> <li>3. 社内教育を利用して環境問題全般についてと、産業廃棄物の減量について研修会を実施し、この問題について全社員の共通理解を得られるようにする。</li> </ol>			

②計画	<b>【目標】</b>		
	産業廃棄物の種類	ガラス・コンクリート陶磁器くず	—
	全処理委託量	500 t	— t
	優良認定処理業者への 処理委託量	— t	— t
	再生利用業者への 処理委託量	500 t	— t
	認定熱回収業者への 処理委託量	— t	— t
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処理委託量	— t	— t
<p>(今後実施する予定の取組)</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 注文段階でより正確な必要数量を算出するために、得意先業者に お願いし産廃発生量を抑制する。</li> <li>2. 自社でブロックの製造量を増やし、地元の協力をお願いしコンク リート舗装を行う。</li> <li>4. 社内教育を利用して環境問題全般についてと、産業廃棄物の減量 について研修会を実施し、この問題について全社員の共通理解を 得られるようにする。</li> </ol>			
※事務処理欄			